

基 本 調 査 票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 6 年 11 月 5 日			
設置・運営主体	社会福祉法人 城西福社会		
設置主体			
経営主体	社会福祉法人 城西福社会		
事業所名 (施設名)	東川口あら川保育園	種別	保育所
所在地	〒 333-0811 埼玉県川口市戸塚1-6-18		
電 話	048-446-7531		
FAX	048-446-7541		
Email	kawaguchi@arakawa.ed.jp		
U R L	www.arakawa.ed.jp		
施設長氏名	木下 亜由美		
調査対応担当者	木下 亜由美	(所属、職名：園長)	
利用定員	77 名	開設年	平成 31 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
理念：地域の子育て経典となり社会に貢献できる人を育てる 基本方針：あら川式保育メゾットを導入し、愛着形成に努め、体操・音楽・読み書き計算に取り組み 自学自習の習慣づくり等に取り組みながら非認知能力を身につける保育をしていく			
開所時間 (通所施設のみ)	午前7時～午後7時30分		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	8	8	1		3
1歳児	12	12	1		3
2歳児	12	12	1		2
3歳児	15	15	1		2
4歳児	15	15	1		1
5歳児	15	15	1		1
計	77	77	6	—	—
（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。					

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		11 人			
うち	保育士	9	人	保健師・看護師	0 人
	栄養士・調理員	1	人	その他（	1） 人
非常勤職員数		12 人	（常勤換算	人）	
うち	保育士	7 人	（常勤換算	4.6	人）
	保健師・看護師	0 人	（常勤換算	0	人）
	栄養士・調理員	2 人	（常勤換算	1.7	人）
	その他（	3）	人	（常勤換算	1.8 人）
（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。					
（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤：	1 人	非常勤：	2 人
	退職	常勤：	1 人	非常勤：	1 人
（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢				38 歳	（ 歳）
（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数				3.7 年	（ 年）
（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。					

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	—
延長保育	○	
休日保育		
障害児保育	○	—
一時保育		
地域子育て支援センター		
乳幼児健康支援一時預かり事業（病後児保育）		
アレルギー等対応給食	○	—
その他（事業名： ）		

（注）実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・令和 5 年度におけるボランティアの受け入れ数（延べ人数）

0 人

・ボランティアの業務

--

【実習生の受け入れ】

・令和 5 年度における実習生の受け入れ数（実数）

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 2 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)		525 m ²	
	児童1人あたり	6.8 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)	
(2) 園庭面積		270 m ²	
	児童1人あたり	3.5 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)	
(3) 耐火・耐震構造	耐火	☒ 1. はい	☐ 2. いいえ
	耐震	☒ 1. はい	☐ 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年 平成 31 年			

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

いかがでしたかカードと子育て相談カードを毎月えんだよりと一緒に配布している。1か月ごと要望や意見、悩み等を記入して、保育園と連携できるような取り組みとなっている。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

一人ひとりの成長や発育を捉えながら、家庭と連携しながら、愛着形成に努める。躰の三原則を習慣化できるように、日々の保育を丁寧に行う。あら川式教育メゾットの取り組みから、子どもの可能性を最大限に引き出すように、コツコツと継続した保育を行なっている。続けることで、成果を出すこともできている。安全で安心できる保育に心がけ、職員に危機管理能力を上げ、怪我や事故、病気に対する対応をしっかりと行う。給食職員と保育者との連携も大切にして、会議での報告だけではなく、日常の連絡、相談に配慮しながら互いに協力し合う姿勢を大切にしている。

【第三者評価の受審状況】

- ・ 受審回数（前回の受審時期）

_____ 回 （令和 _____ 年度）